

購読料の値上げにつきまして

いつも楓通信をお読みいただき誠にありがとうございます。本誌は次号、2026年3月発行の164号より、**購読料を1,000円から1,500円（2年分）に改定させていただきます。**

本誌購読料は、1996年の初発行時は年間で1,000円頂いておりました。以来、より多くの方に奥日光の魅力をお届けしたいと、途中から2年で1,000円に値下げし現在に至ります。それから長らく料金を据え置いてまいりましたが、度重なる郵送料の高騰に伴い、いよいよ購読料の改定が避けられない状況となりました。

定期購読の皆様には2年間分の郵送料（8回発送）および手数料として頂戴しております。本誌は無料の配布物ですので、読者の皆様にご負担いただくのは送料と、発送にかかる手数料です。購読者の皆様にご負担をおかけすることは誠に心苦しいのですが、ご理解いただけますと幸いです。

今後も、日光湯元ビビターセンター共々、楓通信をよろしくお願ひいたします。



定期購読のご案内

発行日にご自宅まで本誌をお届けします。

「楓通信」購読料 **1,500円**

2025年3月号(No.164)～2027年12月号(No.171)

【発行】自然公園財団 日光支部

※本誌は無料。送料、手数料として頂きます。

【申し込み方法】

ビビターセンターで申込書にご記入いただきか、下記まで氏名・住所・電話番号をご連絡ください。

✉ yumotovc.guide@npfj.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

2025年12月初旬発行 [次号 2026年3月初旬発行予定]

奥日光の自然情報誌

楓通信

2025年度 No.163

12-2月号



鏡面の湯ノ湖

今号の特集

<特集1> 冬の「奥日光三名瀑」をめぐる

<特集2> ビビターセンタースタッフは冬に何をしているの？



華厳滝

奥日光

冬の三名瀑をめぐる

冬の奥日光観光に悩む方にオススメ！冬でも滝は見られますよ！

華厳滝

アクセス難易度
★★☆☆

冬でも豪快に流れ落ちる滝の様子は圧巻！！滝のまわりの雪やつららの状態によって全く違った装いになるのが、冬の華厳滝の見どころ。たくさん雪が降った翌日には、岩肌が雪で覆われ全体が真っ白になることも！

グリーンシーズンは「ガスっていて滝が全く見えなかった」と残念がるお客様の声をよく聞きますが、空気が澄んだ冬は、猛吹雪でもない限りそういったことはほぼありません。寒さだけ我慢すれば、高確率で冬の絶景が見られます。

【華厳滝エレベーター】

- 営業時間 9:00 ~ 16:30
- 料金 大人 600 円、小学生 400 円
(無料展望台のみの利用なら無料)



竜頭ノ滝（正面）



(滝上)

竜頭ノ滝 アクセス難易度 ★★☆☆

竜頭ノ滝も駐車場からすぐ滝を見られるため、冬でも安心です。冷え込みが続くと、岩を包み込むように凍結するのが特徴。

左上の写真は完全に滝が凍ったように見えますが、実は表面が凍っているだけで中の水はザーザーと流れています。ストーブのきいた暖かいお茶屋さんで一休みしながらこんな雪景色が見られるので、寒い日でも気軽にフラっとお立ち寄りいただけます。

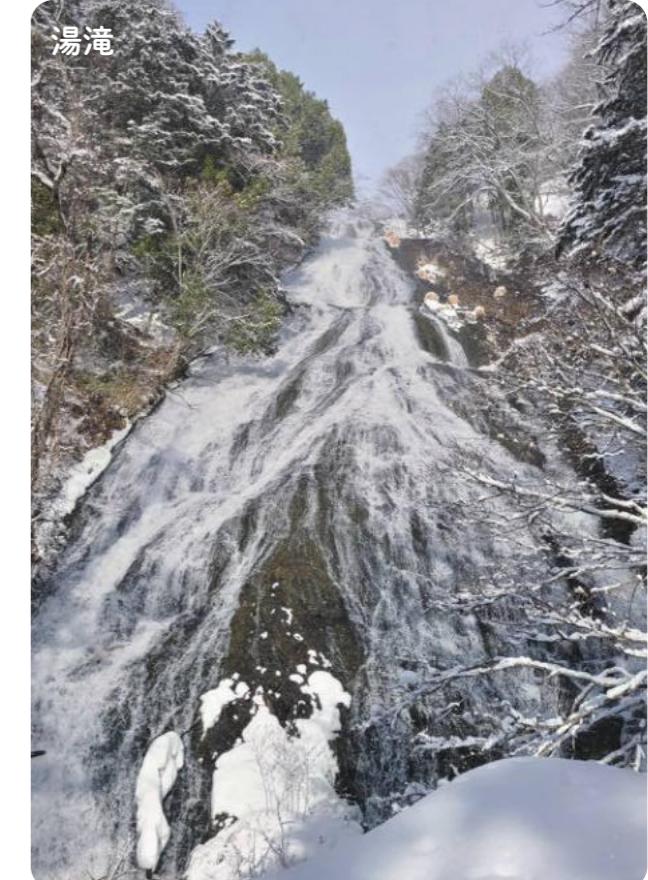
滝上からの景色もオススメ。所どころ積もった雪と水の流れが合わさり、冬ならではの美しさを演出します。なお、滝の正面から滝上に続く遊歩道は天候により凍結や積雪の可能性があります。スノーブーツや滑り止めが必要な場合もあるので、無理のない範囲でお楽しみください。

湯滝

湯滝 アクセス難易度 ★★★

冬は駐車場が冬季閉鎖してしまう湯滝。車で行くことはできませんが、徒歩ならアクセス可能です！ただし、凍結や積雪の状況によってはスノーシューや滑り止めが必要なこともあります。バス停を降りたものの積雪量の多さに呆然と立ち尽くしている方を毎年目にします。スノーシューがあれば何とかなる場合が多いですが、雪がたくさん降った日の翌日は雪の壁ができていることがあるので要注意！

滝との距離が近いことで人気の湯滝は、冬も迫力満点！上記の理由でほとんど人がいないので、大迫力の滝をひとり占めできることがほとんど。他の滝と比べアクセスの難易度は高いですが、滝を独占しにぜひお越しください！※トイレは閉鎖しています※



冬は休館日があるけど…

冬にどんな仕事をしているの？

積雪が多いことから冬はお客様が少ない奥日光…。

そんな中でもビズターセンターのスタッフは冬ならではの作業をしています！

今回は、その内容についてご紹介します。

歩道のパトロール

冬でも変わらず、戦場ヶ原や小田代原の巡回をします。スノーシューコースが開設されれば、そちらのパトロールも行います。吹雪や雪の重みで倒木が発生したり、スノーシューコースでは雪崩が起きることもあるため、季節を問わず、ハイキングコースの巡回は必須業務になっているのです。

歩道の凍結や積雪状況、どんな装備で歩くのが適切か、などもホームページで発信しています。ぜひ参考にしてください！



館内の展示替え・清掃

4月～11月の間は休館日がないビズターセンターでは、冬が展示替えのチャンス！売店の棚をDIYで作ったり、壊れた展示の修復など…大がかりな作業は普段できないので、休館日に一気に作業を進めます。

右の画像は「立体地形図」の拭き掃除の様子。溝に隠れたホコリもくまなく綿棒でふき取ります。お客様に配布している地図や資料も、この時季にデザインや内容の見直しをすることが多いです。



冬はとにかく除雪！除雪だーつ！

積雪量が多い奥日光では、日々の除雪が必須です。積もった雪を放っておくと、融けずにどんどん硬くなり氷になってしまうからです。お客様がスケートリンクの上を歩くような状態にならってしまうため、雪が軽いうちに除雪をする必要があります。

ビズターセンターの周りだけでなく、湯元温泉街の無料駐車場も私たちが除雪しています。建物のまわりはスコップや投雪機、駐車場は除雪車を操縦して除雪します。積雪量が多いときは、一日の仕事が除雪で終わることもしばしば。せっかく除雪したのに、その夜に雪が降って翌朝には元通り、なんてことも日常茶飯事です。ふう…。



投雪機での除雪



駐車場の除雪は除雪車で

こんなこともやってます

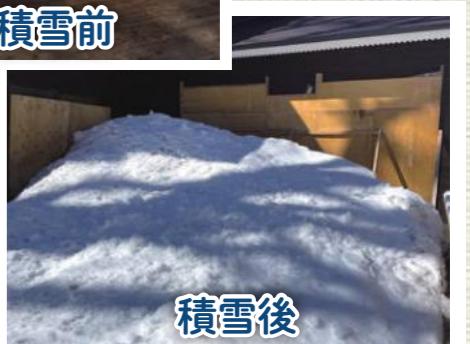
ゆきがこい 積雪に備える「雪囲い」

本格的な積雪に備えて設置するのが「雪囲い」です。雪の重みで窓ガラスが割れるのを防ぐ為に、窓全体を板で覆い、雪の圧が直接かかるないようにします。

写真は、ビズターセンターの外のデッキに設置した雪囲い。本来なら大きな窓から外の景色が見えて雰囲気バツグンなのですが、冬はこうして板で塞がなければいけないです。他の、雪が積もりやすい場所にも同様のものを設置して、積雪による建物の損傷を防いでいます。



積雪前



積雪後

ビミョーセンターイベント

ゼロから始めるスノーシュー

2月1日（日）
9:30-14:30

「スノーシューって何？」という、まさにゼロから始める方に向けたイベント。ブランクがあって心配な方にもオススメです！スタッフが冬のフィールドの楽しみ方をレクチャーしながらゆっくり歩くので、体力に自信がない方でもご安心ください。次回使えるレンタル無料券つき！！

【ルート】日光湯元 VC ⇄ 湯元スノーシューコースのいずれか（積雪状況による）

参加費 4,000 円
(レンタル代別途必要)

～特別感に酔いしれよう～ ナイトスノーシュー&花火

2月7日（土）
18:45-20:15

この日は湯元で約10分間の花火大会があります。その間に合わせて、スノーシューでスキー場のゲレンデ中腹から花火を見よう！というイベント。花火を待つ間、現地でスタッフが温かい飲み物をご提供します。さらにレンタル付きでこの料金！超絶お得で特別感も満載です！！ぜひ！！

【ルート】日光湯元 VC → 湯元内 → 湯元スキー場 → 日光湯元 VC

参加費 2,000 円
(レンタル代込み！)

対象：現地に集合できる小学生以上の方
集合場所：日光湯元ビジターセンター



定員 15 名

今は無き、昭和の湯元スキー場を辿る

2月8日（日）
9:30-12:00

かつては湯元スキー場のコースだった場所へ行ってみよう！行きは途中までスキー場のリフトを使います。雪は多いですが、スポットはほぼ平坦なので、スノーシュー初心者の方でも問題ありません。ゴールでは絶景が待っているかも…！？

【ルート】日光湯元 VC → 日光湯元スキー場 → 昭和のスキー場 → 日光湯元 VC

参加費 3,000 円

(リフト代込み・レンタル代は別途必要)



定員 15 名

対象：現地に集合できる小学生以上の方
集合場所：日光湯元ビジターセンター

雪のおうちを作ろう！ 除雪車の除雪ショーやつき！

2月14日（土）
10:00-12:00

あったか～
ドリンク付き♪

対象：現地に集合できる方
集合場所：日光湯元ビジターセンター

ビジターセンターの裏には毎年、除雪によって集められた雪がたくさん！その雪を使って、かまくらやイグルー（右画像）等、雪のおうちを作りましょう！ファミリーでの参加も可能！各年代それぞれに楽しめます♪スタッフが普段操縦している除雪車でのパフォーマンスもありますので、お楽しみに！

【開催場所】日光湯元ビジターセンター

参加費 1,000 円



定員 20 名

お申込み先（自然公園財団日光支部）

✉ yumotovc.guide@npfj.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

お申込みの際、下記をお知らせください。

①氏名②令和4年～6年実施イベントの参加有無

③性別④年齢⑤住所（郵便番号含む）⑥電話番号

⑦当日の交通手段